

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京メディカル・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復師科 午前・午後コース (3年制)	夜・通信	101 単位	3×3=9 単位	
	鍼灸師科 午前・午後コース (3年制)	夜・通信	91 単位	3×3=9 単位	
	理学療法士科 I 部 (4年制)	夜・通信	189 単位	3×4=12 単位	
	理学療法士科 (4年制)	夜・通信	189 単位	3×4=12 単位	
	スポーツ理学療法士科 (4年制)	夜・通信	90 単位	7 単位	
	理学療法士科 II 部 (4年制)	夜・通信	90 単位	7 単位	
(備考) 2025 年度から柔道整復師科午後コース 募集停止 2026 年度から理学療法士科 I 部を理学療法士科へ名称変更 2026 年度から理学療法士科 II 部をスポーツ理学療法士科に名称変更					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェックあり。 <a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/syllabus/">https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/syllabus/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京メディカル・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。  
<https://www.jikeigakuen.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和7年5月29日～ 令和10年度の定時評議 委員会	地元(江戸川区)の名士 として学校と地域の連携 を図る
非常勤	株式会社役員	令和7年5月29日～ 令和10年度の定時評議 委員会	地元(北海道)の名士 として学校と地域の連携 を図る
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京メディカル・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
柔道整復師科 午前コース・午後コース (昼間部3年制)、鍼灸師科 午前コース・午後コース (昼間部3年制)、理学療法士科 I部 (昼間部4年制)、理学療法士科 (昼間部4年制)、理学療法士科 II部 (夜間部4年制)、スポーツ理学療法士科 (夜間部4年制)	
【作成について】	
各授業科目については、養成校指定規則に則り、各学科の部署会議において授業科目の設定・講義内容についての検討・検証を授業アンケートや教育課程編成委員会からの意見を検討した上で各授業を担当する教員により作成を行っている。	
学内の教員用内規(シラバスハンドブック)の中で、授業科目名、学年、開講区分、担当教員名、必修・選択、授業形態、必要時間数、授業回数、授業の学習内容と心構え、科目到達目標、使用教材・参考文献等、準備学習・時間外学習、授業概要、到達目標(各回でできるようになること)、評価方法、特記事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。	
【時期について】	
翌年度の授業計画(シラバス)は学内カリキュラム会議の決定を踏まえて、毎年～2月を目途に担当教員が作成する。内容については学科責任者のチェックを得て、教務部長が3月に最終的に確認する。HPには4月に今年度のシラバスを公開する。	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/syllabus/">https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/syllabus/</a>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則・学則施行細則において、学内の成績評価、履修、進級・卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験（レポート含む）により成績評価を行っている。</p> <p>(参考)</p> <p>学則（単位取得の認定、学習の評価）</p> <p>第12条 学校長は、試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合評価し、該当科目の単位の認定を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 出席時間数が第8条に定める時間数の10分の7に満たない者については、当該科目の単位の認定をしない。</li> <li>3 試験の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。ただし、その科目の評価については別に定める。</li> </ol> <p>学則（卒業）</p> <p>第24条 本校に修業年限以上在籍し、所定の課程を修了し、卒業判定会議に合格した者には卒業証書を授与する。ただし、柔道整復師科、鍼灸師科に関しては、実技認定試験（認定実技審査）の合格も要件とする。</p> <p>学則施行細則（卒業・進級基準）</p> <p>(卒業・進級基準)</p> <p>第13条 学年ごとに各必修科目合格（第5条）の評価を得た者は必要単位修得者となり、進級することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 卒業時までカリキュラム全科目を履修単位修得し、卒業判定会議にて学校長が適当と認めた者は卒業となる。</li> <li>3. 各学年必修科目の未履修および単位未修得（第5条の不合格）がある者は留年対象となる。（単位追認措置規程該当者を除く）</li> <li>4. 第3項の単位未修得者は単位追認措置制度にもとづく単位追認試験、特別補講を実施する場合がある。</li> <li>5. 柔道整復師科・鍼灸師科においては、実技認定試験（認定実技審査）にも合格が必要となる。</li> <li>6. その他、各科規程に準じる。</li> </ol>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点（いわゆる Grade Point Average に相当するもの。以下「GPA」という。）を用いている。</p> <p>学業成績は授業科目ごとに実施する定期試験（中間試験、期末試験）によって評価されるが、本校では各授業を100点満点を基準の評価として60点以上を合格としている。合格者の中でも評価点数により100～90をA、89～80をB、79～70をC、69～60をDとして成績が通知される。成績評価に以下の評価点をそれぞれ与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する。 A-4.0 B-3.0 C-2.0 D-1.0</p> <p>成績評価方法については、学則、学則施行細則をHPで公開するとともに、学生便覧に明示し、入学時オリエンテーション等で入学生に説明している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/common/doc/about/infomation/2021_evaluation-etc.pdf">https://www.tokyo-medical.ac.jp/common/doc/about/infomation/2021_evaluation-etc.pdf</a></p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東京メディカル・スポーツ専門学校は、学校教育法に基づき、医療業界、スポーツ業界で活躍する施術・リハビリテーションの専門家に必要な知識、技術を授け、あわせて、問題解決、コミュニケーションに必要な知識、技術を授け社会に有用な人材を養成することを目的とする。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目をすべて合格することを定めている。詳細については、ディプロマポリシーをはじめ、学則施行細則、学生便覧等に記載している。</p> <p>本校ではディプロマポリシー（をはじめとした3つのポリシー）を策定し、HPに公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/common/doc/about/infomation/2021_evaluation-etc.pdf">https://www.tokyo-medical.ac.jp/common/doc/about/infomation/2021_evaluation-etc.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京メディカル・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/taishaku.pdf">https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/taishaku.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/shushi.pdf">https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/shushi.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/zaisan.pdf">https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/zaisan.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/jigyo.pdf">https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/jigyo.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/kansa.pdf">https://www.jikeigakuen.ac.jp/wp-content/themes/BSC/img/information/pdf/kansa.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復師科午前コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2760 単位時間/単位	1800 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		140人	0人	8人	14人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて小テストを実施し、それぞれの授業内での理解度を確認している。 また、定期的に個別相談・指導を担当が実施し、チームとして関わるために学科長と教務部長と情報を共有し問題などを解決する。教務以外の学費や学生生活なども各部署で相談、解決をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 （100%）	2人 （6%）	29人 （91%）	1人 （3%）
（主な就職、業界等） 接骨院・整骨院／整形外科・クリニック／トレーナー派遣企業／スポーツチーム・スポーツクラブ／機能訓練指導員としての施設			
（就職指導内容） 就職講座、就職行事、履歴書指導、面接指導、個別面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師、救命講習、柔道（日本伝講道館柔道）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
114 人	7 人	6.1%
(中途退学の主な理由) 学習意欲低下・進路変更・就労意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・補習による学習支援・カウンセラーを交えた学生支援		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復師科午後コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2760 単位時間/単位	1800 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		17人	0人	8人	14人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて小テストを実施し、それぞれの授業内での理解度を確認している。また、定期的に個別相談・指導を担当が実施し、チームとして関わるために学科長と教務部長と情報を共有し問題などを解決する。教務以外の学費や学生生活なども各部署で相談、解決をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 （100%）	1人 （8%）	10人 （84%）	1人 （8%）
（主な就職、業界等） 接骨院・整骨院／整形外科・クリニック／トレーナー派遣企業／スポーツチーム・スポーツクラブ／機能訓練指導員としての施設			
（就職指導内容） 就職講座、就職行事、履歴書指導、面接指導、個別面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師、救命講習、柔道（日本伝講道館柔道）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	1 人	3.3%
(中途退学の主な理由) 学習意欲低下・進路変更・就労意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・補習による学習支援・カウンセラーを交えた学生支援		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸師科午前コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間/単位	1500 単位時間 /単位	330 単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		98人	0人	9人	11人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて小テストを実施し、それぞれの授業内での理解度を確認している。また、定期的に個別相談・指導を担当が実施し、チームとして関わるために学科長と教務部長と情報を共有し問題などを解決する。教務以外の学費や学生生活なども各部署で相談、解決をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	21人 (84%)	4人 (16%)
（主な就職、業界等） 接骨院・整骨院／整形外科・クリニック／トレーナー派遣企業／スポーツチーム・スポーツクラブ／機能訓練指導員としての施設			
（就職指導内容） 就職講座、就職行事、履歴書指導、面接指導、個別面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師・きゅう師・BLS（心肺蘇生法技能検定）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92 人	1 人	1.1%
(中途退学の主な理由) 学習意欲低下・進路変更・就労意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・補習による学習支援・カウンセラーを交えた学生支援		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸師科午後コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間/単位	1500 単位時間 /単位	330 単位時間 /単位	8780 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		97人	0人	9人	11人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて小テストを実施し、それぞれの授業内での理解度を確認している。また、定期的に個別相談・指導を担当が実施し、チームとして関わるために学科長と教務部長と情報を共有し問題などを解決する。教務以外の学費や学生生活なども各部署で相談、解決をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 （100%）	1人 （6%）	15人 （83%）	2人 11%）
（主な就職、業界等） 接骨院・整骨院／整形外科・クリニック／トレーナー派遣企業／スポーツチーム・スポーツクラブ／機能訓練指導員としての施設			
（就職指導内容） 就職講座、就職行事、履歴書指導、面接指導、個別面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師・きゅう師・BLS（心肺蘇生法技能検定）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86 人	2 人	2.3%
(中途退学の主な理由) 学習意欲低下・進路変更・就労意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・補習による学習支援・カウンセラーを交えた学生支援		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法士科・ 理学療法士科 I 部		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3840 単位時間/単位	2100 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	570 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	143人	1人	6人	12人	18人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 各授業にて小テストを実施し、それぞれの授業内での理解度を確認している。また、定期的に個別相談・指導を担当が実施し、チームとして関わるために学科長と教務部長と情報を共有し問題などを解決する。教務以外の学費や学生生活なども各部署で相談、解決をする。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	0人 (0%)	38人 (97%)	1人 (3%)
(主な就職、業界等) 病院 (クリニック含む) / 保健福祉施設 / 地域リハビリ支援センター (デイサービス等含む) / スポーツチーム・実業団体			
(就職指導内容) 就職講座、就職行事、履歴書指導、面接指導、個別面談			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 理学療法士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158 人	10 人	6.3%
(中途退学の主な理由) 学業モチベーション低下による進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な担任・保護者・本人の三者面談実施		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法士科Ⅱ部・ スポーツ理学療法士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	3180 単位時間/単位	1890 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	300 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	135人	0人	5人	8人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 各授業にて小テストを実施し、それぞれの授業内での理解度を確認している。また、定期的に個別相談・指導を担当が実施し、チームとして関わるために学科長と教務部長と情報を共有し問題などを解決する。教務以外の学費や学生生活なども各部署で相談、解決をする。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3%)	29人 (97%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院 (クリニック含む) / 保健福祉施設 / 地域リハビリ支援センター (デイサービス等含む) / スポーツチーム・実業団体			
(就職指導内容) 就職講座、就職行事、履歴書指導、面接指導、個別面談			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 理学療法士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128 人	5 人	3.9%
(中途退学の主な理由) 学業不振・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な担任・保護者・本人の三者面談実施および授業外の学習支援		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復師科 (午前コース)	100,000 円	1,100,000 円	410,000 円	
鍼灸師科 (午前コース) (午後コース)	100,000 円	1,100,000 円	450,000 円	
理学療法士科	100,000 円	950,000 円	590,000 円	
スポーツ理学療法士科	100,000 円	850,000 円	490,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/">https://www.tokyo-medical.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営の理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とし、自己点検・評価の結果は学校法人滋慶学園情報公開規定に基づき学校内外に開示するものとする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
治療院 経営者	2025. 4. 1～2027. 3. 31	卒業生代表
スポーツ理学療法士科 学生保護者	2026. 4. 1～2028. 3. 31	保護者代表
高等学校 学校長	2025. 4. 1～2027. 3. 31	高等学校関係者
病院 総括部長	2025. 4. 1～2027. 3. 31	業界関係者
病院 センター長	2025. 4. 1～2027. 3. 31	業界関係者
治療院 経営幹部	2025. 4. 1～2027. 3. 31	業界関係者
不動産会社 経営幹部	2025. 4. 1～2027. 3. 31	地域関係者
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/infomation/">https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/infomation/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項) 2023 年度 一般社団法人柔道整復教育評価機構の第三者評価を受けた。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/">https://www.tokyo-medical.ac.jp/</a>
--